



2022 年 3 月 11 日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 加藤 淳
(JASDAQ コード番号 4667)
問合せ先 取締役経営管理本部長 曽我 泰典
(Tel 052-950-7500)

東京臨海副都心・お台場エリアにおける自動運転車両を活用した
新たなモビリティサービスの実証実験に参画しました

アイサンテクノロジー株式会社（代表取締役社長：加藤 淳）、株式会社ティアフォー（代表取締役社長：武田 一哉）、および、損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二）の3社は、東京臨海副都心・お台場エリアにて、自動運転車両を活用したモビリティサービスの実証実験に参画しました。本実証実験は、東京都「令和3年度 自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデルの構築に関するプロジェクト」（事業プロモーター：日本工営株式会社）の一環として実施したものです。

詳細につきましては別紙をご覧ください。

以上



損保ジャパン



2022 年 3 月 11 日

株式会社ティアフォー

損害保険ジャパン株式会社

アイサンテクノロジー株式会社

東京臨海副都心・お台場エリアにおける自動運転車両を活用した 新たなモビリティサービスの実証実験に参画しました

株式会社ティアフォー（代表取締役社長：武田 一哉、以下「ティアフォー」）、損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）、アイサンテクノロジー株式会社（代表取締役社長：加藤 淳、以下「アイサンテクノロジー」）の3社は、東京臨海副都心・お台場エリアにて、自動運転車両を活用したモビリティサービスの実証実験（以下「本実証実験」）に参画しました。本実証実験は、東京都「令和3年度 自動運転移動サービス実現に向けたサービスモデルの構築に関するプロジェクト」（事業プロモーター：日本工営株式会社）の一環として実施したものです。

1. 本実証実験の概要

(1) プロジェクト概要

自動運転車両を活用した臨海副都心エリアにおける新たなモビリティサービスの実用性等について、協力会社と連携し、実環境を想定した実証を行う

(2) 検証内容

- ・自動運転による回遊性の向上や賑わいの創出等の地域課題解決可能性の検証
- ・自動運転車両を活用した新しいモビリティサービスの事業性、受容性、有効性の検証

(3) 実施期間

2022 年 2 月 17 日（木）から 3 月 10 日（木）まで

※2 月 20 日（日）から 2 月 24 日（木）までと 3 月 3 日（木）から 3 月 7 日（月）までは除く

(4) 運行ルート

シンボルプロムナード公園内

センタープロムナード（ヴィーナスフォート前） から セントラル広場（ダイバーシティ東京前）間
を往復



2. 関係各社の役割

自動運転車両の安心・安全な運行に向け、関係各社と協力して本実証実験を推進いたしました。

株式会社 Mobility Technologies	全体統括、運用オペレーション設計
トヨタ自動車株式会社	自動運転車両の提供・運行
株式会社ティアフォー	自動運転システムの開発・提供
損害保険ジャパン株式会社	自動運転リスクアセスメントの提供
アイサンテクノロジー株式会社	高精度 3 次元地図の製作・提供



損保ジャパン



3. 今後の展開

ティアフォー、損保ジャパン、アイサンテクノロジーの3社は、2019年2月にインシュアテックソリューション「Level IV Discovery」*の共同開発に向けた業務提携を行い、自動運転の安心・安全な社会実装を支えるソリューションの開発に取り組んでいました。今後も3社は協力して開発を進め、自動運転社会の実現に貢献していきます。

*インシュアテックソリューション「Level IV Discovery」

「走行前の事故予防」「走行中の見守り」「万が一の事故への備え」により、自動運転車両の走行を安心・安全面で総合的にサポートするソリューション

【ニュースリリース】https://www.sompo-japan.co.jp/-/media/SJNK/files/news/2018/20190215_1.pdf

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ティアフォー

広報担当 Email : pr@tier4.jp

損害保険ジャパン株式会社

広報担当 徳永 : NTokunaga1@sompo-japan.co.jp

アイサンテクノロジー株式会社

モビリティ事業本部 : TEL 052-950-7500